

+PLUS 想いをつなぐ。

1. 新型コロナウイルス対策

- (1) 県の組織体制について
- (2) 第4波に向けた対策(検査体制と医療支援体制の整備)
- (3) ワクチン接種(市町との連携)
- (4) 効果的な情報発信
- (5) N-CHAT 更なる強化
- (6) コロナ禍で影響を受けた不本意非正規雇用に対する支援

2. 行政のデジタル化推進

- (1) 行政サービスのデジタル化、効率化へ向けた知事の姿勢
- (2) 行政デジタル化推進のための体制強化

3. 教育のデジタル化推進

- (1) 本年度から始まる小中学校におけるGIGAスクール構想

4. 西彼杵道路の整備状況

- (1) 「西彼杵道路」大串～日並間の早期整備

5. 長崎県地方機関の再編

- (1) 県北地区再編の総括
- (2) 県南地区再編の取組み

6. 長崎県観光振興基本計画

- (1) コロナを踏まえたマイクロツーリズムの促進

7. スタジアムシティプロジェクト

3月3日 一般質問で登壇
長崎県議会
長崎県議会議員(自由民主党)長崎市選出
しもじょうひろふみ

下条博文

道路 「西彼杵道路」大串～日並間の早期整備(片側1車線の弱点を補完)



時津町交通渋滞問題 左底郷206号(写真はいメージ)

Road maintenance in NAGASAKI

「西彼杵道路」大串～日並間の早期整備は不可欠。
片側1車線による渋滞緩和・災害や事故対策は急務!

下条：長崎市と佐世保市を結ぶ国道206号は、県内主要地区の人と物の流れを支え、県内地域振興や生活基盤強化などの大きな役割を担う重要な幹線道路だが、慢性的な渋滞や、片側1車線区間で頻発する災害や事故による通行規制などの問題を抱えており、機能強化が不可欠である。片側1車線の弱点を大きく補完する道路として期待される西彼杵道路の整備、長崎市の琴海地区を含む未着手区間の早期整備に向けた県の取組についてお尋ねする。

両区間の早期事業化を目指し、取組みを進める。

土木部長：西彼杵道路の未整備区間である西海市大串から時津町日並までの約23キロメートルについて、西彼杵道路計画検討委員会にて検討を進めている。2/12には、当委員会から、概略ルートやインターチェンジの配置、優先的に整備を行う区間について提言を頂いた。今後、詳細なルート検討などを進めながら、両区間の早期事業化が図られるよう、国と協議を行う。

土木災害 「長崎県 振興局 再編」(長崎市振興局→県央振興局(諫早)へ統合)



長崎市現川駅周辺の集中豪雨による地すべり災害対応

長崎市振興局再編について、災害対策含め、人材確保等、十分な土木機能維持を要望する。

下条：土木の専門家人材の育成には時間を要する。また、災害対策など、迅速にかつ、高い精度で業務を行う必要がある場合、やはり遠方では、対応が厳しいと考える。県の財政を勘案した行政改革・振興局再編は一定理解できるが、県人口の1/3を擁する長崎市における振興局再編は、人材確保も含め、十分な「土木・災害対応能力」維持を要望する。

観光交流 「長崎県の観光振興」(コロナ踏まえたマイクロツーリズム促進)



コロナ禍の今、大きく変化する長崎の観光産業

長崎県内のマイクロツーリズムには潜在的な価値創出チャンスがある!

文化観光国際部長：本県観光は、県民の皆様、あるいは九州各県からの宿泊者の割合が低い。具体的には九州からの割合は約44%と、九州7県中5位。関東・関西圏には強みを発揮しているが、一方、近距離旅行需要の獲得に全体の底上げを図る必要がある。本県への宿泊旅行者リピーター(本県約59%、九州平均約66%)率向上も併せて取組みを進める。



下条博文 公式アプリ
最新の情報をいち早く届けます!
iPhoneの方はApp Store
Androidの方はGoogle Play
App Store
Google Play

各SNSで情報発信中!

Facebook
Instagram
Twitter @shimojo_007
stand.fm @hirofumi.shimojo
<stand.fmでは月曜日20時より定期配信中心>

WEBサイトでも様々な情報を配信しております!
<http://shimojo007.com>
下条博文 検索
しもじょうひろふみ
下条博文 事務所
〒852-8131 TEL: 095-844-7769
長崎市文教町5-17 FAX: 095-844-6278

知事へ デジタルはあくまで、ツール。大切なのは行政の仕組み自体の改革。行政デジタル化は行政改革そのもの！

行政デジタル化は経営改革！



長崎県議会・本議会にて本年度2回目の一般質問を行う。

30年が経つ。行政業務デジタル化が進まない理由は、行政の縦割り構造に原因を感じる。デジタルあくまでツールであり大切なのは設計図。どのようなサービスを提供的に受け手側に提供し、提供側も効率化を図るといふ観点から、既存の組織そのものを見直すような大きな設計図が必要である。

下条：情報化社会となり約30年が経つ。行政業務デジタル化が進まない理由は、行政の縦割り構造に原因を感じる。デジタルあくまでツールであり大切なのは設計図。どのようなサービスを提供的に受け手側に提供し、提供側も効率化を図るといふ観点から、既存の組織そのものを見直すような大きな設計図が必要である。

「行政デジタル化担当」のような看板部署が必要ではないか

時間・費用・手間の節約！

- これまで数日かかっていた申請が数分でできる。
- 役所に出向かなくてもOK
- 紙を失ってしまい再発行・・・などなくなる。
- 個人プラットフォームで複数データを一括管理！

デジタル化の基本
個々の手続きがオンラインで完結
異なる申請等、同じ内容を入力する必要なし
複数機関に関連していても一度の完結

■デジタル化において、高い効果が見込める分野

行政
申請・免許等のデジタル化

教育
ITツールを授業で活用

金融
デジタル通貨・決済

災害
災害情報の管理・配信

行政 デジタル化の一例
例えば、確定申告や年末調整

現在もe-taxなど従前と比べると効率的ではあるが、行政デジタル化が進み源泉徴収票や各証明書もすべて一元管理（プラットフォーム戦略）することで大幅な効率化が期待できる。

下条：行政デジタル化導入が進めば、受けて側の県民だけでなく行政職員の業務も効率化でき一石二鳥。ただ問題は、現在の業務形態が大きく変わる。この様な変化を導く場合、導入メリットとコストを丁寧に説明し合意形成を行う調整役が鍵を握る。この調整部署に「デジタル」という名称を付けることの意義はありと考える。

行政業務とデジタル化は相性が良い
下条：行政業務とデジタル化は非常に相性がよく、導入メリットは高い。県民の皆様へのサービス向上を図る絶好のチャンス。
問題は、今の仕組みが大きく変わること

教育長へ 今年度から始まるGIGAスクール構想。エドテック導入によって、教育の現場が大きく変わろうとしている。

教育デジタル化 = 生徒主体の授業へ！



↓写真) 長崎県立大シーボルト校では最先端のデジタル環境を整備し、サイバーセキュリティを学ぶことができる。

↑写真) 対馬高校では、教育デジタル化が進んでいる。デジタル授業では生徒が主体的に取組み、教職員はサポート役として授業を支えていた。



デジタル化の活用で進めてほしいもの

日本財団 2020.12.24実施「18歳意識調査」
全国の17歳～19歳男女を対象に実施し、1,000人の有効回答をもとに集計

- | | | |
|----|-----------------------|-------|
| 1位 | オンライン授業 | 35.9% |
| 2位 | 給付金の入金など迅速な支援 | 24.8% |
| 3位 | 行政の手続き関連 | 23.5% |
| 4位 | インターネット投票 | 22.2% |
| 5位 | 学校の成績や学生証 | 20.3% |
| 6位 | 運転免許証・マイナンバーカード等公的証明書 | 19.9% |

一般質問で登壇

(長崎県議会・本議場)

1. 新型コロナウイルス対策 / 2. 行政のデジタル化推進
3. 教育のデジタル化推進 / 4. 西彼杵道路の整備状況
5. 長崎県地方機関の再編 / 6. 長崎県観光振興基本計画
7. スタジアムシティプロジェクト

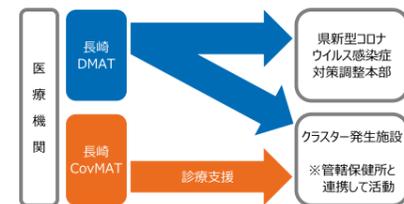


要望

PCR前処理の自動化を進め(感染状況によっては抗原検査などを使い分け)予算的にもより適切にスクリーニングや水際対策体制を整備し、新型コロナに対し、より積極的に攻めの検査体制を実施して県民の安全確保に努めてほしい。また、ゲノム解析機能を有する長崎大学熱帯医学研究所とも連携をし、変異株の拡大防止対策に向けた検知検査を強化してほしい。

新型コロナ対策 (変異株×検査体制×デジタル活用)

次の感染拡大に向けた対策(検査体制と医療支援体制の整備)について、知事・担当部に質問を行いました。



- DMAT(ディーマット)
災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム
- CovMAT(コブマット)
高齢者施設や障がい者施設等でクラスターが発生した際の対応にあたる医療チーム

変異株に対する県の対応策について
下条：県として、変異株を含めた、次の感染拡大に対する対策についてお尋ねする。
知事・福祉部長：2021年3月末内には1日当たり、3500件の検査が可能な体制を整備し今年度中にも1日当たり4600件の検査拡充を行う。変異株対策は、2/22から県環境保全研究センターにて、スクリーニング検査を実施。国立感染症研究所と連携し、変異株対策に取組む。また、医療機関や福祉施設でクラスターが発生した際は、長崎大学病院の専門家や長崎県DMATを現地に派遣するほか診療支援を行う新型コロナウイルス感染症医療支援チーム「長崎COMAT」を整備し支援体制強化を行う。

【長崎大学×協和機電工業(株)】PCR前処理自動化



長崎大学と共同でPCR前処理自動化装置を開発した協和機電さんと意見交換。感染防止や効率化によって、1日千件の検査が可能になる。

デジタルの活用とコロナ禍の雇用対策
下条：N-CHATさらなる強化と、コロナ禍で影響を受けた不本意非正規雇用に対する支援について、お尋ねする。
福祉部長：N-CHATではコロナ感染に特徴的な症状、味覚・嗅覚異常を捉えることが可能！異常検知後、随時アラートを発信し、感染拡大防止に努める。
産業労働部長：企業に対し、国のトライアル雇用助成金やキャリアアップ助成金等の活用を周知するなど、未経験者の採用や社内での正規雇用化を促進していく。

N-CHAT
組織の健康管理者
従業員等の個人
・組織全体の傾向を一覧形式やグラフで確認
・味覚嗅覚の異常者がいる場合などはアラートメールで検知

【要望】
導入初期、デスクトップにアイコンを張り付ける作業の簡易化もしくは自動化を強く要望しました！